

## 別紙

## パブリックコメントの御意見等の内容と町の考え方

No.	項目	御意見等の内容	町の考え方
1	計画全般	○町民一人ひとりが（森林に関して）自分事として受け止め、アイデアを出し合わなければビジョンがあっても実行が伴わないことになる。事あるごとにPRし、町民全員から意見書を貰うような意気込みが欲しい。出来ることから始め、採算がとれるようになるまで、国、県、町の応援がぜひとも必要。	○このビジョンは、町民、森林所有者、林業関係者など多くの方々が、森林に対して、興味や関心を持ってもらうことを目的として策定するものです。 ○完成後のビジョンは町HPに掲載するほか、概要版を作成し町内全戸にも配付して、今後の林業振興のあり方を広く周知するとともに、町民の皆様や関係者との協働により、ビジョンに掲げた取組を推進してまいります。
2	計画全般	○山の価値をもっとアピールし、地権者から税金を集めるだけでなく、山を維持していることの特典を与えられるような政策を考えるべき。	○このビジョンの基本理念は、森林を私たちの「宝」として、自然的・資産的・創造的な価値のある山を目指すことを掲げております。 ○今後、このビジョンに掲げた取組を着実に推進し、森林の持つ機能や価値を高めてまいります。
3	森林行政	○国、県とのパイプを太くし、専門職員の配置やアドバイザーの派遣を要請するなど森林行政を強化してほしい。	○御意見のとおり、このビジョンに掲げた取組を着実に推進するためにも、国や県の協力は欠かせませんので、これまで以上に連携を図ってまいります。 ○専門職員等の配置については、国等の制度がありますので、今後検討してまいります。
4	森林組合	○森林組合の若い人材の育成をお願いしたい。 ○町と森林組合が一体となり、森林資源の有効活用を図ってほしい。 ○森林組合の事務所は、現在の場所では分かりにくく、狭すぎると感じる。旧大内小学校に移転し、林業振興の拠点として活用してほしい。	○丸森町森林組合は、本町の森林施業を担う中核的な団体です。今後もこうした役割を担っていただけるよう、職員や作業員の確保に向けた支援を行ってまいります。 ○また、このビジョンに掲げた取組を着実に推進するためにも、森林組合との連携を強化してまいります。 ○森林組合の事務所に関する御意見は、森林組合にお伝えいたします。
5	稼げる林業	○どんなに素敵なビジョンで夢を掲げたとしても継続できなければ何事にもならない。継続するためには「稼げる」ことが重要。	○基本方針1「森林資源を活かした林業の成長産業化」の中に記載しているとおり、森林施業の低コスト化による林業基盤の整備や、従来の木材供給に留まらない新たな事業展開を通じた森林資源の価値の創造・再興などにより、林業の成長産業化を推進し、収益が得られる林業を目指してまいります。

No.	項目	御意見等の内容	町の考え方
6	林業従事者の確保	○若い人たちが林業に関心を持てるよう、林業が採算を取れるようにしてほしい。	○基本方針1「森林資源を活かした林業の成長産業化」の中に記載しているとおり、森林施業の低コスト化による林業基盤の整備や、従来の木材供給に留まらない新たな事業展開を通じた森林資源の価値の創造・再興などにより、林業の成長産業化を推進し、林業でも収益が確保でき、若い人たちが職業として選択できるような産業にすることを目指してまいります。
7	薪ストーブ・薪ステーション	○薪ストーブの設置費用は高額である。薪ストーブ購入に対する支援策を設けてほしい。 ○不安定な海外エネルギーに依存し消費するだけでなく、一般家庭における薪ストーブの普及率が拡大すれば、木質バイオマスエネルギーで暮らせる丸森町というブランド力向上にもなる。(薪ストーブ購入への支援、薪ステーション設置)	○基本方針1「森林資源を活かした林業の成長産業化」の「2 町産材の安定供給と需要拡大」に記載しているとおり、「薪ストーブの普及」や「薪ステーションの設置」を推進してまいります。 ○御意見を参考に、今後これらの支援策について、検討してまいります。
8	森林の観光的活用	○若い世代の求める観光資源の中に、より「豊かな自然そのもの」の中に身を置いてじっくりと時を過ごすというニーズがある。そのような場所の保護・整備こそ、災害を予防しながら出来る観光資源の創出につながるのではないか。県立自然公園の整備(ツアーの整備も含め)も進めてはどうか。	○基本方針1「森林資源を活かした林業の成長産業化」の「3 森林資源を活用した価値の創造・再興」に記載しているとおり、里山の観光資源化を推進してまいります。 ○御意見を参考に、今後具体的な取組内容を検討してまいります。
9	自伐型林業	○自伐型林業の志向者を協力隊として受け入れる態勢を整えてはどうか。 ○個人や小さな団体でも稼げる仕組みを構築することは最優先事項だと実感している。少ない量、ロットでも買取可能な仕組みが必要。また、持続可能な施工を実施し、未来に多面的な価値を創出するためには「自伐型林業家」をどれだけ育成できるかが重要。森林を所有していない者が活動できるマッチングの仕組みの構築は望まれる事業である。	○「基本方針2 健全で持続可能な森林づくりの推進」の「1 資源の循環利用を通じた森林整備」に記載しているとおり、「自伐型林業」の普及拡大を図ってまいります。 ○「自伐型林業」を推進するため、町では令和5年度から新規事業として「自伐型林業普及推進事業」を実施する予定です。 ○また、基本方針3「森林と暮らす移住・定住の促進と林業・木材産業を支える人材の育成」の「1 森林づくりを通じた移住・定住の推進」に記載しているとおり、地域おこし協力隊制度等を活用した就業マッチングを推進することとしております。自伐型林業に取り組む地域おこし協力隊の受入れについては、町内で活動している団体と、受入れ体制などを相談しながら、今後検討してまいります。

No.	項目	御意見等の内容	町の考え方
10	里山保全と移住・定住の促進	<p>○居久根や里山が、本来の機能を発揮できる状態を心から望む。また、町の大切な資源を生かしながら丸森を盛り上げていきたい。</p> <p>○子供が川や沼、池などで魚や昆虫を採って遊べる場所を作ってほしい。今町内でこのようなことで遊んでいる子供を見かけることがない。多様な虫の棲む里山になってほしい。</p> <p>○丸森の魅力は山と川と里山である。若者たちは今後ますます丸森のような長閑な自然の中で暮らしたり、子育てをすることに関心が向かう。人口が減少している今、先手を打って若者たちに自然の豊かさをアピールすることで子育て世代の人口が増えている地域がある。丸森も乗り遅れていたら町を維持することは難しくなる。</p> <p>○自然を大事にしない町で若者たちは子育てをしたいと思わない。移住してくる人のほとんどは豊かな自然を求めている。これからは水源としても山林は貴重なものになってくる。丸森町は健康な山林を増やすために力を注ぐべき。丸森の未来を左右するほど大切なことだと強く感じている。</p>	<p>○里山は、本町の貴重な資源であり、私たちに恵みや潤いを与えるなど生活の一部を構成する大事な宝だと考えております。</p> <p>○このビジョンに掲げた取組の推進により、丸森の里山を保全するとともに、その魅力を最大限に引き出せるように努めてまいります。</p> <p>○里山の中で暮らすことの良さや魅力について発信することで、本町への移住・定住を促進してまいります。</p>
11	竹林整備	<p>○ビジョンには竹林問題の記述がわずかしかなく非常に残念。林野庁は森林多面的機能発揮事業の中に竹に特化した助成を設けてくれたが、今回のビジョンには竹、竹林が見落とされているのでは、と思う。この先のビジョンの中に竹林問題も提起して頂くことを望む。</p>	<p>○放置竹林については、町も問題として捉えており、その解消に向けた活動を行っている団体に対しましては、これまでも支援を行ってまいりました。</p> <p>○今後は、さらに踏み込んだ対策を検討するため、関係団体と協議を進める予定としており、その検討結果を踏まえ、具体策等を実施計画に位置付けてまいります。</p>
12	モミ・ブナ原生林	<p>○手倉山のモミ・ブナ原生林の整備をお願いしたい。ガイドがいなければ近づくことも難しい。</p>	<p>○モミ・ブナの原生林は、本町の大切な自然的遺産です。この遺産を後世に守り伝えていくため、活用策については、慎重に検討してまいります。</p>
13	災害に強いまちづくり	<p>○丸森は水害が多い町であることを令和元年東日本台風により思い起された。災害に強い丸森にしなければならない。</p>	<p>○このビジョンは、適切な森林整備を通じて土砂災害等の発生を抑制し、安全安心なまちづくりを目指すこととしております。</p> <p>○その実現のために、ビジョンに掲げた一つひとつの取組を町民の皆様や関係者との協働により、着実に実施してまいります。</p>

No.	項目	御意見等の内容	町の考え方
14	森林開発	<p>○危険を伴う風力発電には反対である。</p> <p>○台風被害により、山林の荒廃、真砂土のもろさが明らかになった。ここに風力発電を作ったら大変な被害が出るのでは。町民が山のことを真剣に考えるようになってほしい。</p> <p>○丸森の山はあちこちソーラーパネルが並んでおり、山を皆伐したメガソーラーもある。尾根伝いに風力発電を建てる計画も次々に上がってきているが、山林の大規模改変は災害のリスクが増加する。</p> <p>○災害を誘発しないよう、森林を大規模に改変するメガソーラーや風力発電事業に対する指導。丸森の脆い土質において、上流域の大規模開発は下流域の災害リスクを高めてしまう。検討する際、土砂災害の専門家の指導を仰ぐ。</p>	<p>○1ha以上の森林開発については、森林法に基づく林地開発許可制度が適用されます。許可権者は県知事ですが、町では個々の計画ごとに、各種法令や基準に照らし合わせ、災害発生防止や町民生活への影響、環境への負荷、地域住民の同意などの観点から、開発計画の内容を十分に精査し、意見書を県知事へ提出し、適切な事業実施を促します。</p> <p>○発電出力によっては、「丸森町再生可能エネルギー発電設備の設置の規制に関する条例」も適用されます。</p> <p>○開発地については、関係機関と連携し、定期的に巡回するなどの監視体制を整備します。</p>
15	森林インストラクター・林業技術習得	<p>○森林インストラクター講座を町内又は近隣市町で受講できるようにしてほしい。</p> <p>○誰でも気軽に受けられる刈り払い機やチェーンソーの技術習得のための講座を設けてほしい。</p> <p>○高齢の方でも林業に関わった方がいれば講師を依頼するなど、町民の中からインストラクターがどんどん生まれるような雰囲気づくりが必要。</p>	<p>○基本方針3「森林と暮らす移住・定住の促進と林業・木材産業を支える人材の育成」の中に記載しているとおり、森林インストラクターの育成や林業技術の習得を支援することとしております。</p> <p>○いただいた御意見は、今後作成する実施計画において、検討してまいります。</p>
16	森林ガイド	<p>○森林ガイドにとっても興味がある。丸森の伝説や歴史、災害などの話を継承していきたいので、養成講座を実施してほしい。</p>	<p>○基本方針3「森林と暮らす移住・定住の促進と林業・木材産業を支える人材の育成」の「2 森林づくりを担う多様な人材の確保」に記載しているとおり、森林・林業に携わる人材の掘り起こしや育成を行ってまいります。</p> <p>○森林ガイドの育成については、御意見を参考に今後作成する実施計画において、検討してまいります。</p>
17	丸松整備	<p>○丸松は「人工的な」森であることは否めない。「人工的」＝「人の歴史」と捉え、大正時代からの歴史や山仕事の歴史などと合わせて、教育の場として活用するといいかもしいれないが、山を愛する人々が人工的な森を求めて山に登りたいと思うかは疑問がある。また、丸松の円の中はすべて桜を植樹したと聞き、とても残念に思った。平地の公園内ではなく自然環境の中なので、種の多様性を意識した植栽を行って欲しかった。</p>	<p>○重点プロジェクト2に記載した「丸松」に関しては、御意見を踏まえ、今後の活用策や整備のあり方などについて、検討してまいります。</p>

No.	項目	御意見等の内容	町の考え方
18	木造公共施設	○重点プロジェクト3に記載のあった「もっくる」のような施設は、子育て世代にはとても魅力的。近隣からの交流人口増加も見込めるので、ぜひ地元材を使って作ってほしい。	○重点プロジェクト3に記載した子育て支援施設の整備は、木育や子育て支援の観点から重要な取組だと考えておりますが、財政負担や運営主体などの課題も多いため、今後関係部署と検討を進めてまいります。 ○子育て支援施設に限らず、公共施設の整備に当っては、積極的に町産材を活用してまいります。
19	針広混合林の整備	○荒廃人工林の再生実験の結果によると、強度間伐をすれば、地中も地上の植物にとってもよく、水質も改善されとのこと。強度間伐による広葉樹と杉の混合林を広げてほしい。	○御意見を踏まえ、今後の森林施業や森林管理の参考とさせていただきます。
20	空き家・空き店舗再生	○空き家や空き店舗を地元材を使ってリノベーションし、田舎暮らしにあこがれる人を呼び込んだり、テナントを募集するなどして、町に活気を与えてほしい。	○本町では、空き家を利用した移住・定住の推進策や空き店舗を活用するための支援策を講じております。これらの支援策を周知し、一人でも多くの移住者や利用者の確保に努めてまいります。